

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和3年10月6日
枚方市立長尾西中学校

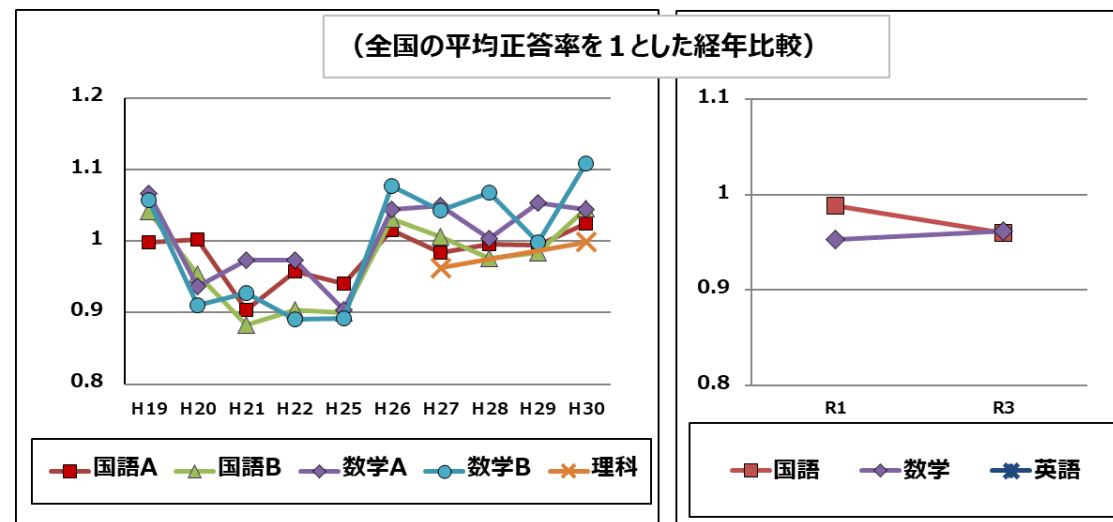
文部科学省が今年5月に実施した、令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等によって、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、生徒の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

【全体概要】

※調査結果について
教科や出題範囲が限られていることから、
全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部分です。

学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較(対全国比)をお知らせします。
(※令和元年度より、A・B問題が一体化されましたので、グラフを分けています。)



<学力調査結果の概要>

○国語について

→「語句についての知識・技能・理解」は全国平均とほぼ同じであった。全国と比べると「読む能力」を苦手としている生徒が多かったです。無解答率は全国平均よりも少なかったです。

○数学について

→全体的に無回答率は全国平均よりも少なく、意欲的に受験ができていました。また、「数量や図形などについての知識・理解」の正答率は全国平均を上回っていました。しかし一方では、それ以外の「数学的な見方や考え方」「数学的な技能」については苦手とする生徒が多く、全国平均を下回る結果となりました。

※本調査は、平成19年度から実施されています。

※平成23年度・令和2年度は中止、平成24年度は一部の学校を対象にした抽出調査のため、掲載していません。

※英語の調査は、令和3年度は行われておりません。

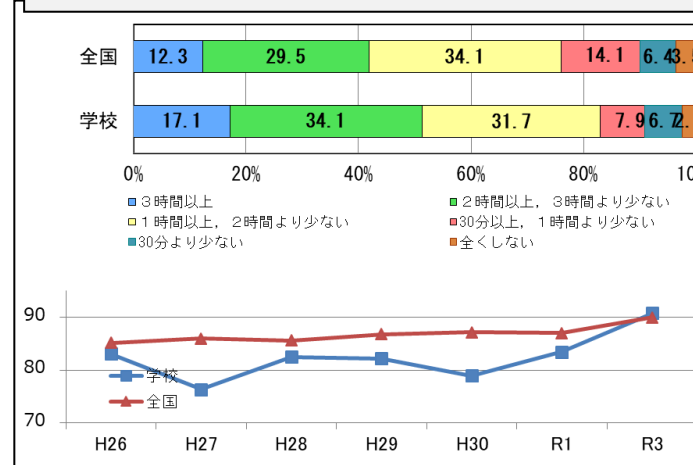
質問紙調査の結果

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

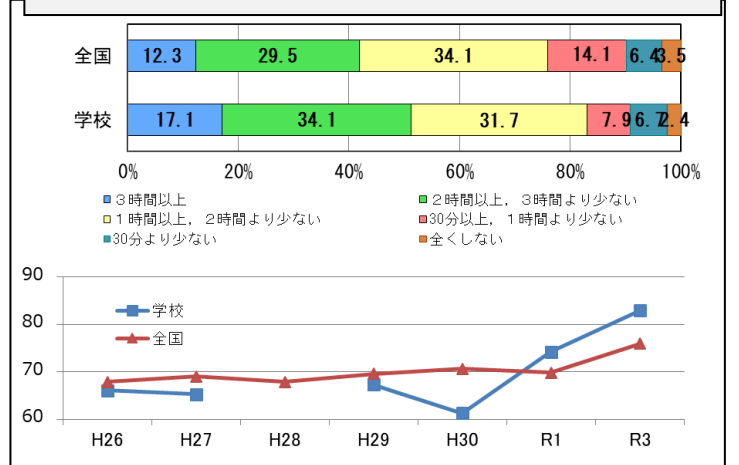
質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。



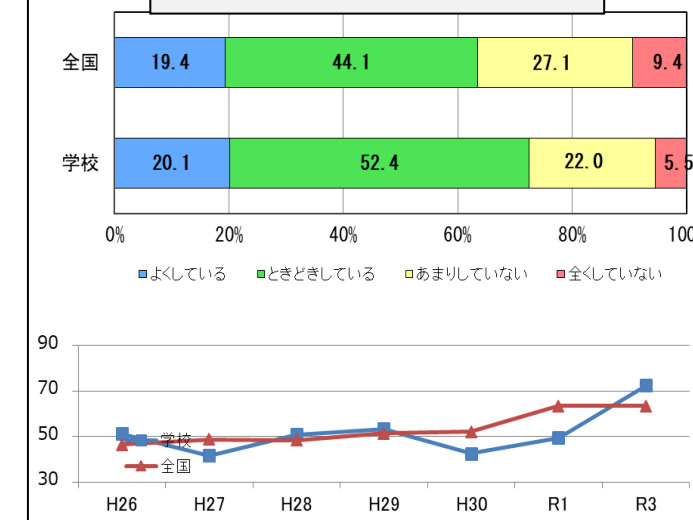
授業時間以外、普段(月～金)1日の勉強時間【30分以上】



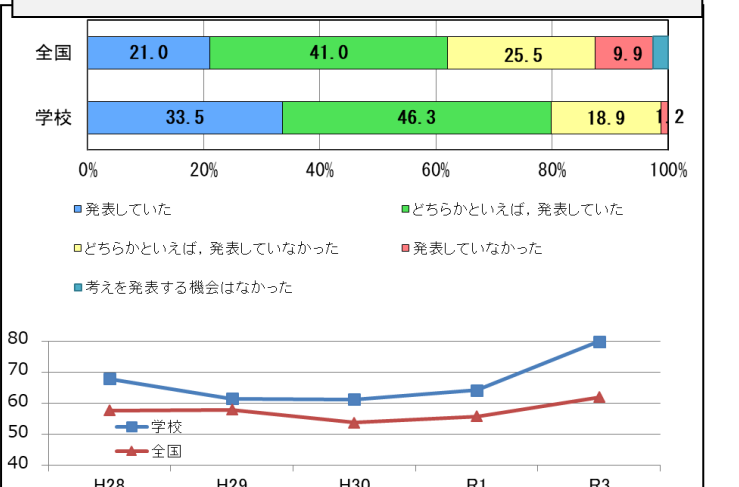
授業時間以外、普段(月～金)1日の勉強時間【1時間以上】



自分で計画を立てて勉強している



授業で自分の考えを発表する機会では、自分の意見がうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると思う。



<質問紙調査結果の概要>

フォーサイト(スケジュール帳)の活用をはじめて3年目になり、計画を立てて生活をするという意識の定着が見えてきました。あわせて家庭学習も計画的に取り組む生徒が増え、効率よく学習できているように感じます。家庭学習を1時間以上取り組む割合も全国平均を大きく上回り、保護者の方がご家庭で声をかけていただいている効果も感じました。

授業では発表の機会を多く取り入れ、「論理的に相手に伝える力」の育成に努めてきました。授業での話し合いの機会を増やしてきた効果が結果につながったと考えられます。

まとめ

「計画を立てて学習すること」、「論理的に相手に伝える力」の取り組みをはじめて3年目を迎え、アンケート結果から、それぞれの成果を見取ることができました。

一方で、取り組みと結果の因果関係を見直し、検証する必要も出てきました。そして次に今回の成果が学力につながるためにどのようにしていくかを検討して研究していきます。

※次ページ以降に、「各教科に関する調査」「質問紙調査」における詳細な結果について公表しております。

【詳細について】

教科に関する調査

<国語>

成果や課題があった設問

【成果】

質問の意図を捉える

(問題) 生徒会の取り組みについてオンラインでの【話し合いの一部(石川さん、山下さんの会話)】を見て、以下の間に答えなさい。

(問)【話し合いの一部】における青空中学校の山下さんの発言5について説明したのとして最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1、石川さんの発言の中で納得できなかったことについて、発言の根拠を明らかにするために質問をしている。
- 2、石川さんの発言の中で理解できなかったことについて、発言の意図を確かめるために質問をしている。
- 3、石川さんの発言の中で関心をもったことについて、さらに詳しく知るために質問をしている。
- 4、石川さんの発言の中で共感したことについて、共通点を明確にするために質問をしている。

	正答率	無解答率
本校	94.5	0.6
全国	92.5	0.2

(考察)

この問題は、会話中での質問の意図が何かを問われています。会話の全体を理解して、発言ごとの役割を理解する力が必要です。

授業では班での交流や発表を繰り返すことで、根拠を持って発言することの練習を行ってきました。

話の前後の関係や話の役割を理解することができていることが今回の結果から見取ることができました。

【課題】

文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ3-4

(問題)

「吾輩は猫である」を読んで、以下の間に答えなさい。

(問)【文章の一部】では、「吾輩(主人公猫)」は「黒(乱暴猫)」をどのように評価し、どのような接し方をしていますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1【文章の一部】から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを書くこと。

条件2条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書くこと。

	正答率	無解答率
本校	10.4	23.2
全国	20.5	24.1

(考察)

この問題は3つの下線部の部分を明確にして解答しないといけない問題です。条件を間違えて把握して、質問に対して何を答えるかが理解できていない生徒がほとんどでした。条件がいくつもあり、複雑な質問に対して何をどう答えていいかが理解できなかったようです。授業中に考える場面でも、答え方にいくつか条件をつけて、様々なパターンを練習する必要があります。

<数学>

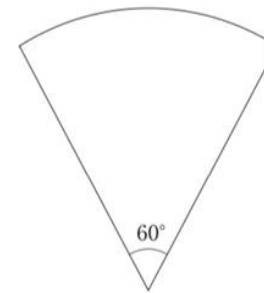
成果や課題があった設問

【成果】

全体との数量関係の割合を考える

(問題)

次の図のような、中心角60°のおうぎ形があります。このおうぎ形の弧の長さは、同じ半径の円周の長さの何倍ですか。下のアからオまでのの中から正しいものを1つ選びなさい。



ア $\frac{1}{2}$ 倍 イ $\frac{1}{3}$ 倍 ウ $\frac{1}{4}$ 倍 エ $\frac{1}{5}$ 倍 オ $\frac{1}{6}$ 倍

	正答率	無解答率
本校	71.3	0.0
全国	66.7	0.3

(考察)

この問題は、おうぎ形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解しているかどうかを問われています。

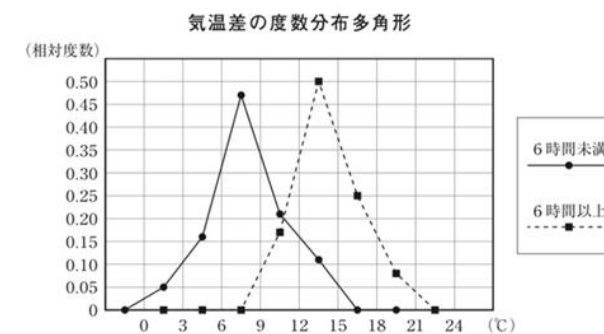
おうぎ形が円全体との数量関係で、どれくらいの割合なのかを感覚的にイメージできていることが正しい理解につながっていると考えられます。日々の学習では、そういった感覚的なイメージができるようにさまざまな角度のおうぎ形を実際に用意し、視覚的にも伝わるように学習してきたので、わずかですがその成果が出たように思われます。

【課題】

グラフから数量関係を捉え、説明する

(問題)

(3) 桃花さんは、前ページの気温差の度数分布表をもとに、横軸を気温差、縦軸を相対度数として度数分布多角形(度数折れ線)に表しました。



気温差の度数分布多角形から、「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、気温差の度数分布多角形の2つの度数分布多角形の特徴を比較して説明しなさい。

	正答率	無解答率
本校	3.0	33.5
全国	8.2	36.3

(考察)

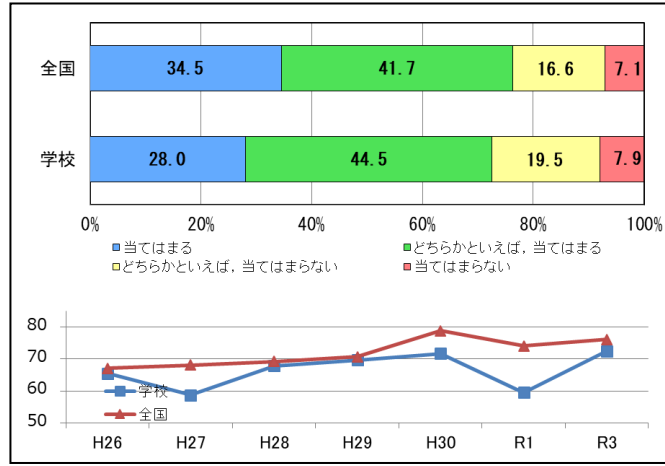
問題文を読んで、何を問われているかを理解することができていなかったように感じました。また、グラフから必要な情報を読み取るができず、今回の問われている「度数分布多角形」を表すことの良さや2つの「度数分布多角形」を並べることの良さがわかっていないようにも感じられます。問題の解き方だけでなく、何に視点をあてればよいのかといった考え方を育み、日常に広がる数的な事象に学びをつなげていく必要があります。

質問紙に関する調査

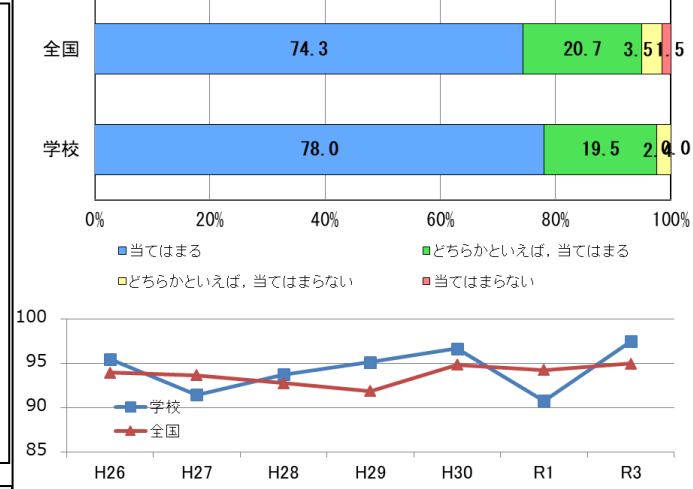
※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。
 ※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
 ※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合があります。

【成果のあった項目】

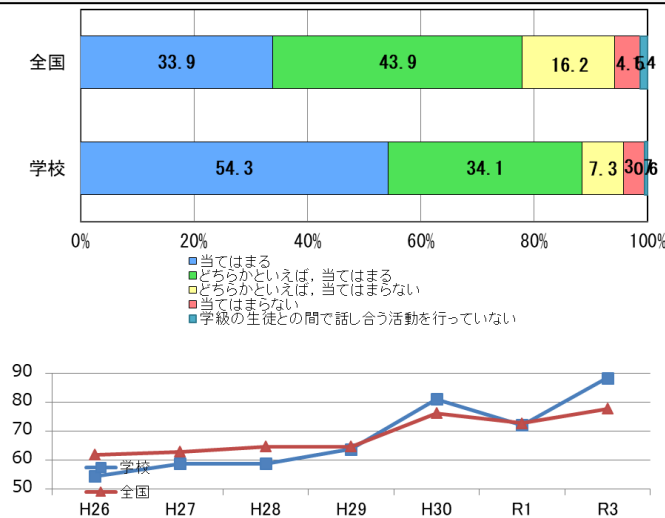
自分には、よいところがあると思う



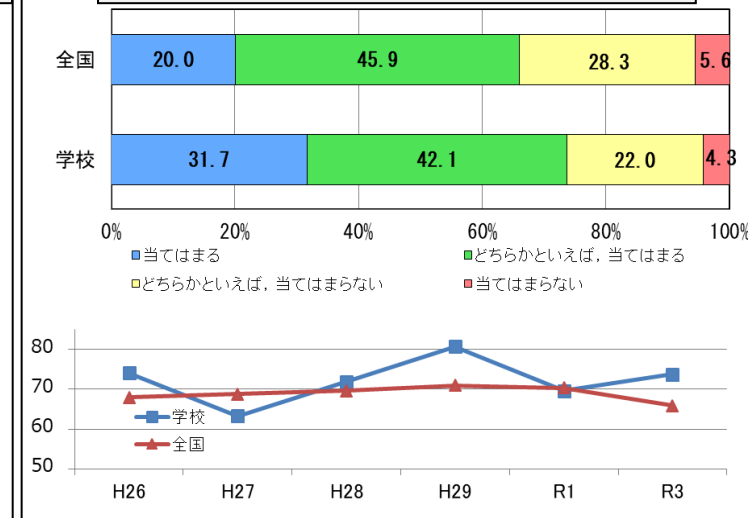
人の役に立つ人間になりたいと思う



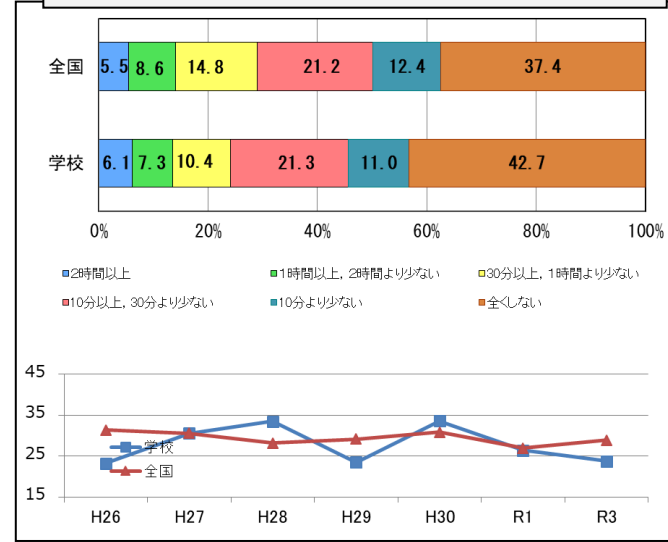
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う



難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している



学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）1日どれくらい読書を読みますか。



(考察)

いじめに対して「いけないこと」という認識は年々上がってきてはいるものの、まだ少数はその意識がないことが課題です。自己肯定感が上がり、すべての生徒が「いじめにはいけないこと」という認識ができるよう取り組みを進めていきます。

また、読書にかける時間が下がってきているという結果が出ました。家庭学習に取り組む時間が増えている側面も考えながら、計画的に時間を活用できるような取り組みをしていきます。

分析結果を踏まえて今年度中に取り組みでいくこと

1) 授業改善について

「論理的に相手に伝える力」を生徒に身に着ける授業づくりを学校全体で取り組み、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざして授業改善に取り組んできました。そのため、講義型の授業ではなく、生徒・教師が対話を通じて学んでいく授業づくりへの変換に重点を置いて取り組みを進めてきました。その成果がアンケートからも見えてきました。今後は、これらの取り組みを基盤に、今求められている学力を授業の中でどのように身に付けていくのかという点に重点を置き、生徒に提示する課題の質を高める研究を進めていきます。

(2) 学習規律について

今後もフォーサイト手帳(スケジュール帳)は一定の効果があると考えています。計画の立て方や家庭学習の振り返りなどを主体的に学習する態度の育成につながります。また、授業では、情報を収集し考える力を育成するために、「聴く」ということを意識して対話の質を高める取り組みもしていきます。

(3) ICT を活用した学習活動について

一人一台の iPad を用いて「classroom」などの活用例を研究してきました。課題の掲示だけでなく、授業の中で自分の考えを打ち込んだり、他の人の意見を見たり、授業の中で時間を取って取り組めなかった部分を ICT を活用して補ってきました。文房具の一つという感覚で ICT の機能を効果的に活用できるように研究しています。

また、家庭学習では宿題や自主学習、タブレットドリルをはじめ、家庭での学びの質を充実させ、個別最適な学びにつながるよう取り組み方の検討をしていきます。

総合的な時間の学習では、Steam 教育の視点から ICT を活用し、探究型学習を行い、情報活用能力及び問題解決能力を育成していきます。

最期に、これからの情報社会に生きる人材を育成するため、情報セキュリティの大切さや情報モラルについての学習を進めていきます。

(考察)

自己肯定感が大きく上がっている結果でした。その要因として考えられるものが大きく3つあります。

1つ目は「心のお天気」の取り組みです。日ごろの自分の気持ちを記録していき、振り返ることで自分を客観的にみることができまます。

2つ目は授業での話し合い活動の充実です。安心して自分の意見が言える環境があるため、話し合いが積極的に行われ、自分が認められているという自己肯定感につながっていると考えられます。

そして、最後は SGE (構成的グループエンカウンター) の取り組みです。昨年度末から導入し始めました。他者と交流することで自己発見・自己成長をしていくものです。

このように大きく3つの取り組みが結果に結びついていると考えます。

【課題が残った項目】

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

